

# AITC 青森農研フラッシュ

研究成果

(地独)青森県産業技術センター・農林部門

## 大豆認定品種 「シュウリュウ」 の品種特性

農林総合研究所

県内の大豆作付は、面積の9割以上で品種「おおすず」が作付けされていますが、**しわ粒の発生**が多く、検査格付けにおける落等要因の上位を占めています。

農林総合研究所では「**おおすず**」に比べ、**しわ粒の発生が少なく**、その他の諸特性も概ね同等以上である「**シュウリュウ**」を**有望と評価**し、平成29年3月に、青森県の第2種認定品種※に指定されました。

### 特 性

農林総合研究所(黒石市)における成績  
(5月下旬播種 平成22、24~28年)

項目	シュウリュウ	おおすず
成熟期	10月12日	10月10日
倒伏程度(0~5)	1.8	1.2
主茎長(cm)	63	49
最下着莢高(cm)	14.0	11.3
子実重(kg/a)	42.6	41.1
同比率(%)	104	100
粗蛋白質含有率(%)	45.0	44.1

※ 第2種認定品種とは

奨励品種の指定前において市場調査を行うために試作する品種として、県農林水産部長が指定。

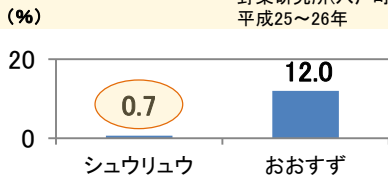
◆ 認定品種制度について

米・小麦及び大豆の生産者が消費者等のニーズに迅速に対応し、自らの生産・販売戦略に基づき自主的に作付品種を選択することができるように、奨励品種制度を補完するもの。

シュウリュウは...

### しわ粒の発生が少ない

野菜研究所(六戸町)  
平成25~26年



しわ粒の発生割合  
(「かぶと」と「ちりめん」の合計)

#### しわ粒について



シュウリュウは...

### 収穫時のロスが少ない



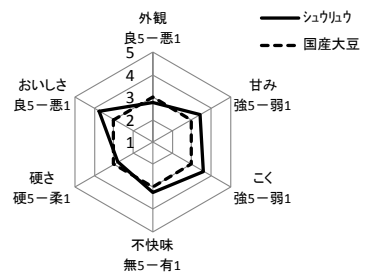
(写真:「おおすず」)

「シュウリュウ」は、株の一番下に着く莢の位置(最下着莢高)が高いため、機械収穫時の刈り残しが少ない。

シュウリュウは...

### 豆腐の品質が高評価

県内メーカーによる木綿豆腐の比較  
(「国産大豆」使用と「シュウリュウ」使用)



「シュウリュウ」を使用した豆腐は、食味の評価が高かった。

### 今後の取組み

「シュウリュウ」に関心の高い大豆に携わる関係者が連携して、品種特性の周知及び栽培・加工・種子生産・集出荷・保管・販路などの市場調査を行うため、情報共有及び意見交換を目的とした「シュウリュウ研究会」を立ち上げ、新品種を導入する際の様々な課題を検討していくこととしています。

#### シュウリュウ研究会



お問い合わせ

農林総合研究所 作物部(Tel.0172-52-4396)